

コロナ対策の補正予算

■避難所環境整備費

2541万円

コロナ禍での避難所の感染症対策として、避難スペースや救護スペースに間仕切りを加え、その保管に対応する収納倉庫の整備費用となっている。

A 徳廣 情報防災課長

Q 宮地 葉子議員
住民も望んでいたと思うが、どのようなもので、何個を整備か。また、各集会所にも設置するの

A 縦・横2メートル、高さ1・8メートルの、ポリエステル製の簡易なもので、ワンタッチで広げられ、収納もできるものを設置するように考えており、体育館には約1450基を計画。また、救護スペース用として同様のものを20基ほど設置したいと考えている。集会所等にはこれらは設置せず、この間仕切り以外で感染防止可能と考ええる。



今回導入予定のワンタッチ式間仕切りの一例

■屋外観光施設等緊急整備事業費補助金

1936万円

コロナ禍での観光振興推進に当たり、新しい生活様式や社会構造の変化に対応した宿泊施設の整備を支援するもの。

内訳は県補助が3分の2、町補助が6分の1。自己負担が6分の1で387万円。

■感染症対策商工業施設等整備補助金

1千万円

町内の商工業者を対象に、施設改修費等に対し補助をするもの。コロナ対策の交付金を活用し、消耗品費（ペーパータオル等）5万円、備品（間仕切り用アクリル板等）を含めた改修費20万円を上限として、各40事業者を見込んでいる。



コンテナ型の屋外観光宿泊施設の一例

■新型コロナウイルス感染症緊急対策基金

356万円

一般の方からの寄付とともに、特別職を含む町職員からの寄付金を積み立てるもの。

Q 濱村 美香議員

この基金の活用は。

A 宮川 総務課長

今回、新設したもので、基本的には感染症対策で使用することとなるが、具体的なところは未定。

■道の駅なぶら観光掲示板改修工事

196万円

老朽化のため改修するもの。

■林道施設災害復旧測量設計委託

130万円

5路線、7カ所の災害復旧測量設計委託をするもの。



老朽化した観光掲示板（特に丸枠内の傷みが激しい）